# 第３学年　体育科学習指導案

令和２年１１月６日（金）第５校時　活動場所　運動場
男子１４名　女子１３名　計２７名
高知市立十津小学校　教諭　高石　昌悟

**１　単元名**　「めざせ！！動きマスター！！」　（多様な動きをつくる運動）【体つくり運動】

**２　運動の特性**

(1)　一般的特性

○体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに，多様な動きを身につけたり，動きの質を高めたりする運動である。

(2)　児童から見た特性

| 体つくり運動の楽しさや喜びを感じる要因 | 体つくり運動を遠ざける要因 |
|---|---|
| ・友達と一緒に体を動かすこと。<br>・友達がしている動きを見付けて参考にし，動きを広げること。<br>・動きのこつを見つけること。<br>・易しい動きをもとに，工夫して動きを創る創造性。<br>・自分の運動の力を試したり，運動の達成感を感じたりすることができること。 | ・なわとびなど，用具操作の困難さによってねらいとする動きができないと楽しむことができないこと。<br>・単調な動きの反復だけだと飽きてしまい，楽しむことができないこと。 |

**３　児童の実態**

(1) 知識・運動

体つくり運動については，低学年で用具を操作する運動遊びや体を移動する運動遊び，バランスをとる運動遊び，力試しの運動遊びを経験し，遊びの中で動きを工夫する学習をしてきている。また毎時間どの単元でも，導入として体ほぐしの運動からスタートし，心と体のスイッチを入れる習慣がついている。授業だけではなく、休み時間にも運動に親しもうとする児童が多く見られ、友達と仲よく活動することができる。しかし、運動の種類や難易度によっては、はじめから苦手意識をもつ児童もおり、思考する前からあきらめ、工夫しようとしない姿も見られる。

(2) 思考・判断・表現

前年度に行った体つくりの運動遊びの学習では，ボールやフラフープなどの用具を使ってできる運動を考えたり，ペアやグループでなど人数を増やしてもできるか考えて挑戦したりしていた。

１学期に行った水泳の学習では，バディの泳ぎを見て，ポイントができているか確認したり，１時間ごとに自分の課題意識をもって取り組んだりするよう声がけを行ってきた。しかし、児童によっては課題意識が低いままの児童もおり、ただ運動している状態になっている場面も見受けられる。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

＜態度・意識面事前アンケート＞

| 項目 | 全体評価 | 評点 |
|---|---|---|
| 楽しむ | １３．８ | 5 |
| わかる | １２．２ | 5 |
| できる | １２．３ | 5 |
| まもる | １４．８ | 5 |
| 合計 | ５３．１ | 5 |

年度当初の体育授業についての総括的授業評価の結果からは４項目のすべてにおいて肯定的な結果が明らかになっている。入学時から体育 TT とともに学習してきた学年であるため,体育授業の流れが身についており，低学年のうちから，楽しみながら様々な体の動かし方を経験してきている成果といえる。友だちと一緒に何かをすることに対しても､肯定的に捉えている児童が多くいる。しかし、平均台を渡ることや手押し車をすることなど、単調な運動や体力を使う運動に対しては､否定的な意見も少なくなかった。

(4) 体つくり運動に関するアンケート（実施人数 27 名）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Q：体育の学習は好きですか。 | | 24 | 見る | いろいろな動きの行い方の動きを見ること | 20 |
| Q：体つくり運動の学習は好きですか。 | | 19 | | 手本となる友達の動きのよさを見ること | 21 |
| Q：体つくり運動の学習でどんな時が楽しいと感じますか？ | | | | できばえを友達といっしょに見合うこと | 17 |
| する | おに遊びをすること | 23 | 支える | がんばっている友達をおうえんすること | 18 |
| | 平均台を使ってバランスをとる運動をすること | 16 | | 考えたこと（アドバイス）を友達に伝えること | 15 |
| | 手おし車など力だめしの運動をすること | 15 | | 自分の関わりによって友達ができるようになること | 22 |
| | フラフープなどの用具を使った運動をすること | 21 | 知る | より良い体の動かし方を知ること | 21 |
| | 長なわや短なわを使った運動をすること | 19 | | いろいろな動きの行い方を知ること | 22 |
| | できなかった動きができるようになること | 20 | | めあてを解決するための練習の方法を知ること | 21 |
| | できそうな動きに挑戦すること | 20 | | | |
| | 友達といっしょにすること | 25 | | | |
| | 自分のめあてを決めてすること | 14 | | | |

## ４　教師の指導観及び研究テーマとの関わり

| | | |
|---|---|---|
| **研究主題** | たのしい　できそう　いっしょにもっと！　運動好きな十津っ子 | |
| **研究仮説１** | 「運動の特性（楽しさ・おもしろさ）にふれる学びをつくることができれば体育の学ぶよろこびを感じ、運動好きな十津っ子に伸びていくであろう。」 | |
| **手立て１<br>単元（教材）デザイン** | 知識及び運動<br>**◎思考力，判断力，表現力**<br>学びに向かう力，人間性等 | 本単元では、プレゼン大会をゴールとし、４つの運動をもとにどのような動きができるか、コツや工夫を通して楽しさを考えていく。その際、板書カードを使って、子どもたちが見つけた楽しく運動するためのコツや工夫を視覚的にも理解できるようにする。<br>また、４つの運動に取り組んでいく際、１時間は「よりよい動きにするポイント＝コツ」を見つける時間、もう１時間は「動きを広げるポイント＝工夫」を見つける時間とし、コツと工夫を区別しながら学習を進めていけるようにする。<br>動きの工夫を考える時間はローテーションを取り入れている。いろいろな場で活動できることで、飽きがこないようにする。 |
| **手立て２<br>かかわりデザイン** | 知識及び運動<br>思考力，判断力，表現力<br>**◎学びに向かう力，人間性等** | 単元を通して、ペアと対話する時間、グループで取り組む時間、全員でチャレンジする時間を設け、一緒に運動することの楽しさを味わわせる。対話の際は、コツや工夫をもとにした話し合いを展開していく。<br>単元を通して、グループ構成は、「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に、自由とする。グループを固定しないことで、児童同士の声がけも多様になり、動きの広がりも加速していく。話し合いに深まりがでないことが危惧されるが、授業で出てきた意見をパネルに貯めていくので、どの児童も前時からのつながりを意識した話し合いができる。 |
| **手立て３<br>環境デザイン** | **◎知識及び運動**<br>思考力，判断力，表現力<br>学びに向かう力，人間性等 | 平均台→平均台マット、ドッジボール→ソフトバレーボールなど、その運動が難しければ、その下位運動に当たるものを準備し、取り組み続けられる環境にする。<br>ローテーションで取り組む際、どのような動きをすればよいか分かるよう、基本的な動きのイラストを各コーナーに掲示しておく。 |

| | | |
|---|---|---|
| **手立て４<br>フィードバックデザイン** | **◎知識及び運動**<br>思考力，判断力，表現力<br>学びに向かう力，人間性等 | コツや工夫をパネルに貯めていき、振り返る際の手立てとする。<br>学習カードは、第２・４・５時では、わかったことや経験した動きについて気づいたこと・楽しかったこと・次にやってみたいことをカードに記入させて振り返り、一人一人が次時のめあてをもてるようにする。第３・６時では、前時の学習カードをもとにやってみた動きや工夫したことを振り返り、めあてに対しての達成度を認識させる。一人一人のめあてを明確にすることで、ただ楽しむだけでなく、「これをがんばりたい、楽しみたい」という目的をもって活動に取り組める。 |

## ５　単元の目標

(1)多様な動きをつくる運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，体のバランスをとったり，移動をしたり，用具を操作したり，力試しをしたりすることができるようにする。【知識及び運動】

(2)自己の課題を見つけ，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。【思考力，判断力，表現力等】

(3)多様な動きをつくる運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲良く運動したり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。【学びに向かう力，人間性等】

## ６　学習活動に即した評価規準

| 知識・運動 | 思考・判断・表現 | 主体的に運動に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ① 多様な動きをつくる運動について言ったり書いたりしている。<br>② 姿勢や速さ、リズム、方向などを変える体を移動する動きや、力を出し切ったり、力の入れ方を加減したりする力試しの動きができる。<br>③ 姿勢や方向を変える，体のバランスをとる動きや、巧みに用具を操作する動きができる。 | ① より楽しく運動するために，動きを広げるための工夫の中から様々な工夫を選んでいる。<br>② 動きを高めるために，友達の運動の行い方を比べるなどして，自己の課題を見付けている。<br>③ これまでの学習で経験した運動の中から，みんなで行うと楽しくなる運動や自分自身や友達の動きの工夫を伝えている。 | ① 多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。<br>② きまりを守り，「いつでもどこでも誰とでも」励まし合って運動しようとしている。<br>③ 友達と協力して用具の準備・片付けをしようとしている。<br>④ 友達の考えや取り組みを認めようとしている。<br>⑤ 運動をする場や用具の安全性を確かめている。 |

## ７　単元の計画

### (1) 領域の取り上げ方と運動種目

※年間カリキュラムをご参照ください。

| 時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6（本時） | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習課題 | 【単元を通しての課題】動きの工夫や楽しさを見付け、できる動きを増やしていく。 | | | | | | | |
| | ●基本的な動きを身につけ、工夫しよう。<br>※第1時はオリエンテーション | | | | | | ●工夫した動きを発表しよう。 | |
| 学習内容 | ○レベルアップタイム<br>・縄跳びに取り組み用具を操作する力を高める。 | | | | | | | |
| | ○学習のねらい、進め方、ルールを知る。 | ○学習のめあてを確認する。<br>「移動する運動と力試しのコツはなんだろう。」 | 「移動する運動と力試しの運動はどんな工夫ができるだろう。」 | 「バランスをとる運動と用具を操作する運動のコツはなんだろう。」 | | 「バランスをとる運動と用具を操作する運動はどんな工夫ができるだろう。」 | 「プレゼン大会に向けて工夫した楽しい動きを見つけよう。」 | |
| | ○4つの運動の基本的な運動に取り組む。<br><br>①移動<br>・歩く・走る・這う<br>②力試し<br>・引きずもう・手押し車<br>③バランス<br>・手押し相撲・飛行機ポーズ<br>④用具操作<br>・ボールを投げる・運ぶ<br><br>○動きの確認<br><br>○4つの運動の工夫した動きに取り組む。<br><br>①移動<br>・まね歩き・オセロゲーム<br>②力試し<br>・4人で引きずもう<br>・手押し車でじゃんけん<br>③バランス<br>・そんきょで押し相撲<br>・手をつないで飛行機ポーズ<br>④用具操作<br>・寝転がって投げる<br>・4人でボール運び | ○移動する運動に取り組む。<br>①這う・歩く・走る<br>・犬歩き<br>・歩きながら前の人の真似<br>・リレー<br><br>②跳ぶ・はねる<br>・グースケじゃんけん<br>・ケンステップ<br><br>③登る・下りる<br>・ジャングルジム | ○移動する運動、力試しの運動の工夫をする。<br>・ローテーションで行う。<br><br>①這う・歩く・走るコーナー<br>②跳ぶ・はねるコーナー<br>③登る・下りるコーナー<br>④押す・引くコーナー<br>⑤運ぶ・支えるコーナー<br>・5グループに分け、一か所4分で交代していく。<br><br>・工夫しているグループがあれば一度止めて、どのような動きをどのように工夫しているのか確認するようにする。 | ○バランスをとる運動に取り組む。<br><br>①座る・立つ・保つ<br>・片足で<br>・背中合わせで<br>・バランスボールを使って<br>・ボードを使って | ○バランスをとる運動に取り組む。<br><br>②わたる<br>・平均台を<br>・綱の上を<br>・すれ違いながら | ○バランスをとる運動、用具を操作する運動の工夫をする。<br>・ローテーションで行う。<br><br>①座る・立つ・保つコーナー<br>②わたるコーナー<br>③一輪車・竹馬コーナー<br>④なわとびコーナー<br>⑤ボールコーナー<br>・5グループに分け、一か所4分で交代していく。<br><br>・工夫しているグループがあれば一度止めて、どのような動きをどのように工夫しているのか確認するようにする。 | ○グッドモデルとして教師の発表を見る。<br>・取り組む前にモデルとなる発表の仕方を見ることで、その後の活動にスムーズに入れるようにする。 | ○工夫した動きのプレゼン大会を行う。<br>・プレゼンを見るだけでなく、実際にやってみて、どのような工夫があったか、どのようにするとうまくいくかなどを、発表するようにする。 |
| | | ○力試しの運動に取り組む。<br>③押す・引く<br>・すもう<br>・綱引き<br><br>④運ぶ・支える<br>・おんぶ<br>・手押し車 | | ○用具を操作する運動に取り組む。<br><br>③一輪車・竹馬<br>・ポールを伝って<br>・支えてもらいながら<br>・乗りながら手をつないで<br><br>④なわとび<br>・くぐる | ○用具を操作する運動に取り組む。<br><br>⑤ボール<br>・投げる、捕る<br>・材質や形を変える<br>・寝転んで投げる、捕る | | ○4つの運動から取り組みたい運動を選び、工夫した楽しい動きを見つけていく。<br>・運動別にコーナーを分けておく。<br><br>A:移動する運動コーナー<br>B:力試しの運動コーナー<br>C:バランスをとる運動コーナー<br>D:用具を操作する運動コーナー<br><br>・そのコーナーに集まった人の中でグループを作成し、工夫した動きを | |
| | | ○移動する運動や力試しの運動にはどのような動きがあるのか確認する。<br>・児童のオリジナルな動きは工夫として共有し、貯めていく。 | ○どのような工夫が見つかったか確認する。<br>・言葉だけで確認するのではなく、新しい工夫を見つけたグループには実際にやってもらう。 | バランスをとる運動や用具を操作する運動にはどのような動きがあるのか確認する。<br>・児童のオリジナルな動きは工夫として共有し、貯めていく。 | | ○どのような工夫が見つかったか確認する。<br>・言葉だけで確認するのではなく、新しい工夫を見つけたグループには実際にやってもらう。 | ○動きをどのように発表するのかを確認する。<br>・発表の準備が順調に進んでいるグループには、どのように構成しているのか発表してもらう。 | ○プレゼンの中で、組み合わせた運動を考えたグループがあれば、『組み合わせた運動』というものがあり、それは4年生でやることを伝える。<br>・次の学年への見通しをもたせる。 |
| | | ○チャレンジタイム<br>・動きの確認の中で、気になった動きに挑戦する。<br>（一人・ペア・グループ等） | ○クラスチャレンジタイム<br>・工夫を確認した際に、みんなで楽しく取り組めそうな動きを選びクラス全員でチャレンジする。 | ○チャレンジタイム<br>・動きの確認の中で、気になった動きに挑戦する。<br>（一人・ペア・グループ等） | | ○クラスチャレンジタイム<br>・工夫を確認した際に、みんなで楽しく取り組めそうな動きを選びクラス全員でチャレンジする。 | ○再度、工夫した楽しい動きを見つけていく。 | ○プレゼンの中で、みんなで楽しく取り組めそうなものがあれば、クラスチャレンジを行う。 |
| | ○学習の振り返りを行う。<br>・運動が楽しくなる工夫を振り返る。 | | | | | | | |
| ☆見方・考え方を働かせている児童の姿 | ☆学習の見通しをもち、ルールやマナーを守って、進んで取り組む姿。移動、バランス、力試し、用具操作の動きの楽しさを味わっている。 | ☆移動する運動や力試しの運動の基本的な動きを知り、よりよい動き（動きのコツ）を見つけようとしている姿。 | ☆移動する運動や力試しの運動の基本的な動きをもとに、動きを広げるために、工夫しようとしている姿。 | ☆バランスをとる運動や用具を操作する運動の基本的な動きを知り、よりよい動き（動きのコツ）を見つけようとしている姿。 | | ☆バランスをとる運動や用具を操作する運動の基本的な動きをもとに、動きを広げるために、工夫しようとしている姿。 | ☆積み上げてきた工夫をもとに、楽しくなる動きを見つけようとしている姿。<br>☆グループで協力して、動きを作り出すために、体を動かしながら考え、伝えている姿。 | ☆他のグループが考えた動きの工夫に着目し、その動きの楽しさを味わっている姿。 |
| ★評価方法 | 【主】②⑤<br>観察・学習カード | 【知・運】②<br>観察・学習カード | 【主】①<br>観察・学習カード | 【知・運】③<br>観察・学習カード | 【思・判・表】②　【主】③<br>観察・学習カード | 【思・判・表】①<br>観察・学習カード | 【思・判・表】③　【主】④<br>観察・学習カード | 【知・運】①<br>観察・学習カード |
| ●運動が苦手な児童や意欲的でない児童への支援 | ●運動に苦手意識をもつ児童のために、易しい運動から始めるようにする。 | ●人を押す、引く動きが苦手な児童には、膝を曲げて腰を低くした構えで、安定した姿勢で行えるように声掛けする。 | ●主体的に取り組めていない児童には、工夫を貯めたパネルをもとに動きを考えるよう声がけする。 | ●なわを跳ぶことを苦手とする児童には、真ん中に印をつけたなわを使うようにする。 | ●渡るなどの動きが苦手な児童には、段ボールなど<br>の用具を用いて、広さや高さを易しくした場づくりをするなどの配慮をする。<br>●用具を捕ることが苦手な児童には、用具の大きさや柔らかさなどを変えて動きを易しくするようにする。 | ●主体的に取り組めていない児童には、工夫を貯めたパネルをもとに動きを考えるよう声がけする。 | ●楽しい動きを見つけることに苦労している児童には、難しくすると楽しくなることを伝え、基本的な動きをもとに難しい動きに挑戦すればよいことを伝える。 | |

## ８　本時の学習と指導（６／８時）

(1)　ねらい

より楽しく運動するために，動きを広げるための工夫の中から様々な工夫を選ぶことができている。（思考・判断・表現）

(2)　準備物

平均台，一輪車、竹馬、なわとび、ボール、コーン、学習カード

(3)　展開

| | 学習内容・活動 | 指導上の留意点○指導◆評価 |
|---|---|---|
| 導入 | １．　レベルアップタイムを行う。<br>・なわとびに取り組む。 | ○回数を記録していき、自己やクラスの伸びを把握できるようにする。 |
| 展開 | ２．学習のめあてを確認する | ○めあて・学習の流れ・ルール等を提示し，学習の見通しが持てるようにする。 |
| | バランスをとる運動と用具を操作する運動を工夫しよう。 | |
| | ３．工夫タイム<br>・ローテーション方式で動きを広げる工夫を見つける。<br><br>①座る・立つ・保つコーナー<br>②わたるコーナー<br>③一輪車・竹馬コーナー<br>④なわとびコーナー<br>⑤ボールコーナー<br>・5 グループに分け、一か所 4 分で交代していく。 | ○工夫しているグループがあれば一度止めて、どのような動きをどのように工夫しているのか確認するようにする。<br>○動きを広げる工夫だけでなく、よりよい動きにするためのポイントにも着目させる。<br><br>◆より楽しく運動するために，動きを広げるための工夫の中から様々な工夫を選んでいる。<br><br>○出された良い動きや工夫はパネルに足していき，あとの活動でも取り入れやすいようにする。 |
| | ４．動きの確認<br>・どのような工夫ができたか，友だちの良い動きはどこかなどを発表する。 | ○言葉だけで確認するのではなく、新しい工夫を見つけたグループには実際にやってもらう。 |
| | ５．クラスチャレンジタイム<br>・工夫を確認した際に、みんなで楽しく取り組めそうな動きを選びクラス全員でチャレンジする。 | ○発表会で披露すると楽しい工夫はどんなものか考えながら取り組むようにする。 |
| まとめ | ６．学習の振り返り<br>・工夫タイムやクラスチャレンジタイムに取り組んでみての気づきや感想を共有する。 | ○「工夫の○○を使うと楽しくなりました。」などパネルに掲示している文言を使うよう声がけする。 |